

みなさま、こんにちは。校長の加藤敏久と申します。本日は本校までおいでいただき、ありがとうございます。

砧中学校は区内でも伝統ある学校で、もうすぐ創立80周年を迎えます。親子三代で卒業生というご家庭もあり、勉強も運動も文化的な活動もたいへんよくやっていると、以前から評判の学校です。

「寛容な心と想像力、未来のグローバル人材を育てる砧中学校」をスローガンに、生徒たちは主体的に、楽しく学校生活を送っています。教職員が生徒一人一人の成長を願い、授業も学校行事も生徒主体で行うようにしています。多様性を尊重し、合理的配慮、不登校支援などもより充実してまいりますので、安心して入学していただきたいと思います。

また、生徒の意見を学校教育に活かす取り組みは、ビデオをご覧になっていただきました通りです。生徒会役員が中心となって、ネクタイやリボンを自分たちで選んだり、時代に合った校則の見直しやイベントの充実を積極的に進めています。今後、生徒会とスリランカのサラナート・マハ・ヴィディヤラヤ中学・高等学校との交流もますます盛んになっていきます。

その他、地域のボランティア活動も盛んです。部活動も、サッカー部や剣道部、陸上部、硬式テニス部などが都大会に出場しています。11月30日の日曜日に成城ホールで行われる「せいじょう地域文化祭」で、吹奏楽部とダンス部がパフォーマンスを披露します。ぜひご来場ください。

さて、「内申がとりにくい」とか「できる子にはいい学校」などとうわさを聞くことがありますが、今はまったくそんなことはありませんので、こちらもご安心ください。

これから具体的な説明があります。不明な点は遠慮なく質問してください。また、お帰りになられたら、世田谷区内で一番閲覧数の多い本校のホームページで生徒たちの様子をご覧ください。

やさしく元気で、かつ知的で寛容な生徒たちがたくさんいる砧中学校にぜひ入学いただきますようお願いして、結びといたします。本日はよろしく願います。